

## 健 康

金

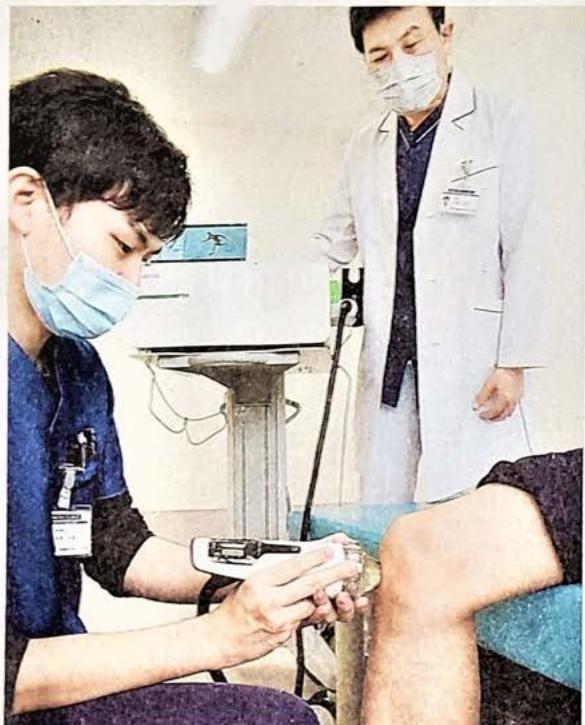
文化 エンタメ

土

こだま

日

教育



衝撃波を利用した治療は、腎臓や尿路の結石を粉碎する治療に用いられてきた。整形外科では、結石粉碎より低出力の衝撃波を使い、腱や靭帯の障害、骨性疾患の

治療に活用されているという。広い範囲に照射する「拡散型」に対し、「集束型」は痛みのある範囲にエネルギーを集中させてピンポイントに照射。痛みを誘発してい

いわゆる「ゴルフ肘」や「テニス肘」などに対し、患部に衝撃波を照射して治療する「集束型体外衝撃波治療」。この「集束型」の装置を今春導入した大森整形外科リウマチ科（福井市）によると、一部を除き保険適用外で全額自己負担だが、痛みを和らげ組織修復を促す効果が期待できるという。

# 体外衝撃波で痛み緩和

## 大森整形外科(福井) 「集束型」装置を導入

### スポーツ障害の患部照射

膝などの患部に衝撃波を照射する「集束型体外衝撃波治療」について、福井市の大森整形外科リウマチ科の院長は、「この治療は、日本人メジャーリーガーや体操の東京五輪出場選手らトップアスリートも受けしており注目されている。慢性的な痛みに悩んでいる人は、運動制限をせずに治療する選択肢の一つとして検討してみては」と話している。

福井市の大森整形外科リウマチ科

治療の対象は足底腱膜炎、テニス肘（上腕骨外側上顆炎）、ゴルフ肘（上腕骨内側上顆炎）、バレーボール、バスケットボール選手に多いジャンパー膝（膝蓋腱炎）、サッカー選手に多い疲労骨折のほか、小中高校生によくみられる「オスグッド病」（膝下前面の骨端症）など。難治性の足底腱膜炎の場合は、保険適用となるケースがある。

照射時間は1回10～20分程度。腱などの軟部組織は約1週間、骨の場合は約1カ月の間隔を空けて3回程度繰り返す。入院の必要はない。大森整形外科によると、3月に集束型の装置を県内で初めて導入。これまでに中高年のゴルフ爱好者をはじめ、小中高校生ら約40人が治療を受けた。

大森弘樹院長は、「この治療は、慢性的な痛みに悩んでいる人は、運動制限をせずに治療する選択肢の一つとして検討してみては」と話している。

治療の対象は足底腱膜炎、テニス肘（上腕骨外側上顆炎）、ゴルフ肘（上腕骨内側上顆炎）、バレーボール、バスケットボール選手に多いジャンパー膝（膝蓋腱炎）、サッカー選手に多い疲労骨折のほか、小中高校生によくみられる「オスグッド病」（膝下前面の骨端症）など。難治性の足底腱膜炎の場合は、保険適用となるケースがある。

照射時間は1回10～20分程度。腱などの軟部組織は約1週間、骨の場合は約1カ月の間隔を空けて3回程度繰り返す。入院の必要はない。大森整形外科によると、3月に集束型の装置を県内で初めて導入。これまでに中高年のゴルフ爱好者をはじめ、小中高校生ら約40人が治療を受けた。

大森弘樹院長は、「この治療は、慢性的な痛みに悩んでいる人は、運動制限をせずに治療する選択肢の一つとして検討してみては」と話している。

治療の対象は足底腱膜炎、テニス肘（上腕骨外側上顆炎）、ゴルフ肘（上腕骨内側上顆炎）、バレーボール、バスケットボール選手に多いジャンパー膝（膝蓋腱炎）、サッカー選手に多い疲労骨折のほか、小中高校生によくみられる「オスグッド病」（膝下前面の骨端症）など。難治性の足底腱膜炎の場合は、保険適用となるケースがある。

照射時間は1回10～20分程度。腱などの軟部組織は約1週間、骨の場合は約1カ月の間隔を空けて3回程度繰り返す。入院の必要はない。大森整形外科によると、3月に集束型の装置を県内で初めて導入。これまでに中高年のゴルフ爱好者をはじめ、小中高校生ら約40人が治療を受けた。

大森弘樹院長は、「この治療は、慢性的な痛みに悩んでいる人は、運動制限をせずに治療する選択肢の一つとして検討してみては」と話している。